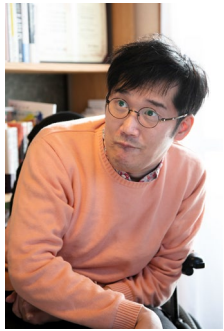


ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	中央大学				
プログラム名	アニメ映画から考える社会学——私の障がいって誰が決めたもの？				
先生(代表者)	天島大輔(てんばただいすけ)・日本学術振興会特別研究員(PD)／中央大学				
自己紹介	14歳の時、医療事故で「発話困難な重度身体障がい者」となる。2019年3月世界で一番？障がいの重い大学院生として博士号取得。自らを研究対象とした当事者研究を中心に、重度身体障がい者のコミュニケーションや、社会制度について研究中。2019年4月～日本学術振興会特別研究員(PD)。				
開催日時・募集対象	令和4年3月20日(日)	受講対象者	小学5・6年生、中学生	募集人数	20名
集合場所・時間	Zoomを使用したオンライン開催		(集合時間)	12:45	
内 容					
<p>講師である私自身、「重度身体障がい者」ですが、私の障がいは一体誰が決めたのでしょうか？もし、車イスであることが当然の社会だったら、歩けることが障がいになるかもしれません。障がいには個人に原因があるとする「個人モデル」と社会に原因があるとする「社会モデル」という考え方があります。このプログラムではディズニー映画やだまし絵など、わかりやすい例を用いながら障がいや弱さのとらえ方を変える社会的視点について、ファシリテーターとともに学びます。本当に「誰もが生きやすい社会」とは何か？「障がいがある」と言われている子も、社会で生き辛さを感じている子も、そうでない子も、一緒に誰かの困りごとを色んな角度からみてみませんか？あなたの発想が社会を変えるヒントになるかもしれません。</p> <p>プログラム前半には、様々な障がいや経験を持つ、「障害平等研修ファシリテーター」の方々にもご協力いただき、DET(障害平等研修)の内容も盛り込んでいます。※DETとは「社会の中にある障がいを見抜く力をつける」ための対話をベースとした発見型の研修です(https://detforum.org)。</p> <p>※当日は記録のため録画をさせていただきます。また、マスコミ取材が入る可能性もあります。</p>					
持 ち 物			特 記 事 項		
<p>紙・筆記用具 ※各自お手元に飲み物やお菓子をご用意のうえ、リラックスしてご参加ください。 ※詳細は、参加者に事前にご連絡します。</p>			<p>・新型コロナウイルス感染拡大予防策として、全面オンライン開催としました。Zoomを使用しますので、パソコンまたはタブレットのご用意及び、インターネット通信環境のご準備を各自でお願いします。</p> <p>・事前学習として、映画「ズートピア」のDVDまたはネット配信サービスによる鑑賞をお願いします。難しい場合は、あらずじページをご案内しますので、事前に読んでからご参加をお願いします。</p> <p>・障がいをお持ちの子もそうでない子も積極的にご参加お待ちしております。受講生3～4名に対して、1～2名のスタッフを配置予定です。何か特別な配慮が必要な場合、ご相談可能です。事前にお知らせ下さい。</p>		

スケジュール

- 12：45～13：00 受付（関係者のみ入室可能なZoomミーティンググループの設定）
- 13：00～13：15 開講式（挨拶，オリエンテーション，科研費の説明）
- 13：15～13：30 アイスブレイキング
- 13：30～14：30 講義「DET（障害平等研修）」（1時間）
- 14：30～14：45 休憩
- 14：45～15：45 講義・グループワーク「私の障がいで誰が決めたもの？」（1時間）
- 15：45～16：00 修了式（未来博士号の授与、写真撮影、アンケート記入）
- 16：00 終了，解散

※スケジュールは参加人数によって若干の変更の可能性があります。

課題番号	20HT0088	分野	社会・人文	キーワード	社会モデル,障がい,差別,合理的配慮
------	----------	----	-------	-------	--------------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	: 日本学術振興会特別研究員 (PD) / 中央大学・天畠大輔
住所	: 東京都武蔵野市御殿山2-21-14-2F
TEL 番号	: 080 - 6539 - 1229
FAX 番号	:
E-mail	: d.tenbata@dai-job.co.jp
申込締切日	: 2022年2月13日 (日)
<p>当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後にプログラムの主旨により選考を行います。選考結果は2月20日 (日) までに郵便 (またはメール) にて全員にご連絡します。</p>	

《プログラムと関係する先生 (実施代表者) の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2019年度 ~ 2022年度	特別研究員奨励費 (特別研究員)	19J01769	「発話困難な重度身体障がい者」と「通訳者」間に生じるジレンマと新「事業体モデル」
2020年度 ~ 2023年度	若手研究	20K13734	「当事者事業所」という新たな生存保障システムの考察 福祉経営論の視点から
2021年度 ~ 2021年度	研究成果公開促進費 (学術図書)	21HP5146	しゃべれない生き方とは何か



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000080866947>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。